

令和6年度 いのちの授業 事例集（小学校）【家庭】

掲載数	3
-----	---

	地区	学年	教科等	テーマ	内 容	参考事項（講師・教材等）
1	湘南三浦	小5	家庭科	食に関する指導 「食べて元気に」	本校栄養教諭による授業で、家庭科の授業に合わせた食育の授業を行った。心身の成長や健康保持の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につけることがねらいである。子どもたちは、藤沢市の食育推進のオリジナルキャラクターを交えて3つの食品のグループや、五大栄養素について真剣に話を聞いていた。授業後、振り返りでは好き嫌いを克服しようという子どもが見られた。また、給食時に献立の栄養素を確認しようとする子どもも見られた。	本校の栄養教諭 ・12月に3日間に分けて、5年生3クラスに授業を行った。
2	県西	小5	家庭科	栄養素とその働きを知ろう	心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける学習を行った。 まず、毎日食事をとっているのはどうしてか、何のために食べているのかを考えさせた。その上で、五大栄養素について知り、いろいろな食品を組み合わせる食べることの大切さを知り、組み合わせ方について自分なりに考えさせた。そういった活動を通して、食事が心身の成長や健康の保持増進に大切であることを学んだ。	担任・栄養教諭による授業
3	県西	小6	家庭科	こんだてを工夫して	家庭科「こんだてを工夫して」の学習では、栄養のバランスを考えながら1食分の献立をグループで協力して考えた。これまでの家庭科の学習で学んだことをもとに、それぞれの栄養素が含まれる多種多様な食材を、児童たちは選択していかなければならない。その際、それらの選ばれる食材には重要な栄養素が含まれているとともに、命も育まれていることを児童たちに指導した。命をおいしくいただくことで、我々の命も続いていく。そのことを意識させることで、選んだ食材をよりおいしく食べられるような献立の工夫について、深く考えさせることができた。	